

久留米大学を受診した患者さんへ

「THR 後の後期高齢者の在宅復帰に向けての問題点」の研究に使用する試料（情報）について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の試料を使用します。

- 1) 期間：平成 26 年 7 月 1 日～平成 27 年 5 月 31 日
- 2) 受診科：医療センター リハビリテーション科
- 3) 対象疾患名：変形性股関節症
- 4) 使用する試料（情報）：診療情報（認知機能検査結果、脱臼に対する理解度、家族指導の有無）

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承いただけますよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織：所属：医療センター リハビリテーションセンター
研究代表者：作業療法士 吉野 千春
研究分担者：リハビリテーション部 作業療法士 藤島 ありさ
：リハビリテーション部 作業療法士 溝上 大紀
：リハビリテーション部 作業療法士 長 綾子
：リハビリテーション部 作業療法士 岩佐 親宏
：リハビリテーション科 助教 田中 順子
：リハビリテーション科 講師 名護 健
：整形外科 教授 志波 直人

2) 研究の意義と目的

作業療法は、「身体または精神に障害のある者、又はそれが予測される者に対してその主体的な生活の獲得を図るため、諸機能の回復・維持開発を促す作業活動を用いて行う治療、訓練、指導および援助を行うこと（(社)日本作業療法士協会・定義）」です。

今回、人工股関節置換術後の後期高齢者患者の脱臼予防指導上の問題点を明らかにします。問題点を明らかにすることで、適切な作業療法（必要な対策）の提供が可能となり、治療効果の向上へ繋がります。

3) 研究の方法 :

人工股関節置換術後の後期高齢者患者に対して、診療録より情報収集(認知機能検査結果、脱臼に対する理解度、家族指導の有無)を行います。収集した結果をもとに、データをまとめ評価・判定を行います。

4) 研究期間 : 平成 27 年 11 月倫理委員会承認後～平成 28 年 11 月迄

5) 上記の試料の使用を選定した理由 :

脱臼予防指導上の問題点を明らかにすることで、適切な作業療法(必要な対策)の提供が可能となり、治療効果の向上へ繋がります。

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について :

今回の研究で得られた情報は厳密に管理され、プライバシーに関する個人情報は保護されます。取得した個人情報を、個人が特定されるような形で公表することはありません。

7) 研究成果の発表の方法 :

本研究での研究成果は、福岡県作業療法学会での発表及び論文により学術誌への発表を行う予定です。

8) 利益相反 : 本研究は特定企業からの資金援助はありません。

9) 事務局、問い合わせ、連絡先 :

久留米大学医療センター リハビリテーション部 作業療法士 吉野千春
〒839-0863 福岡県久留米市国分町 155 番 1 号
TEL 0942-22-6721 FAX 0942-22-6538 (直通)

研究番号 15155